

## 指針に基づく情報公開

放射線影響研究所では、個人情報保護法に基づく研究倫理指針を遵守し、この研究については、対象となる方のお一人ずつに直接説明を行いご同意いただく代わりに、情報を公開することにより試料・情報を利用させていただいています。

研究成果は学会や学術誌等で発表されますが、お名前、ご住所などの情報が公表されることはありません。

ご自身または代諾者等が、試料・情報をこの研究に使用してほしくないと思われる場合、研究計画の概要をご覧になりたい場合、その他研究に関することは「問い合わせ先」へご照会ください。ご照会された場合でも、なんら不利益を受けることはありません。

研究計画書番号	RP1-23-2	研究期間	2028年4月まで
研究課題名	原爆被ばく者における、クローン造血、炎症、動脈硬化指標の変化と放射線との関連の評価		
研究責任者(所属)	中溝知樹(長崎臨床研究部)		
試料・情報の利用目的及び利用方法	<p>利用目的：</p> <p>クローン造血とよばれる加齢に伴う血液を作り出す機能の変化は一般高齢者の10%程度に見られ、炎症や循環器疾患など様々な疾患と関連していることが最近わかってきました。この研究ではクローン造血と炎症、動脈硬化との関連を調べるとともに、それらと放射線被ばくとの関連を調べることを目的とします。</p> <p>利用方法：</p> <p>2010年から2014年に行われた「成人健康調査集団における動脈硬化の研究(第1部:動脈硬化性指標を用いた検討 R7-09)」にご協力いただいた方々の動脈硬化指標のデータと、以前に受けていただいた血液検査などのデータを組み合わせて解析します。</p>		
他の機関への提供の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 提供先機関名：広島県、広島市、長崎県の地域がん登録事業部門 <input type="checkbox"/> 無		
利用し、又は提供する試料・情報の項目 (提供する試料・情報の取得の方法)	<p>放影研に保存されている以下の情報を使用します：</p> <p>性別、都市、診断名、診断日、被ばく放射線量、血液生化学などの検査結果、X線検査の結果、治療歴(化学療法、放射線治療等)、喫煙状況、アルコール摂取状況。上記に加えて、広島県市・長崎県が行っている地域がん登録に登録されているがんの診断、治療とその年月。がん登録情報の使用にあたり、照合のために放影研に保存されている氏名、住所等の個人情報を自治体の担当部署に提供しますが、この情報は照合以外の目的には使用されません。</p>		
利用する者の範囲	<p>放射線影響研究所</p> <p>中溝知樹</p> <p>吉田健吾</p> <p>吉田稚明</p>		

	飛田あゆみ 大石和佳 坂田 律 コローン・ジョン 楠 洋一郎
試料・情報の管理に責任を有する者の氏名又は名称	中溝知樹 (放射線影響研究所)
統括個人情報保護管理者	放射線影響研究所 業務執行理事 児玉和紀
問い合わせ先	<b>【研究担当者】</b> 氏名：中溝知樹 公益財団法人 放射線影響研究所 臨床研究部 住所：長崎市中川一丁目 8 番 6 号 TEL：095-823-1121